

平成 28 年（2016 年）4 月 26 日

## 科学研究費助成事業データベース「KAKEN」をリニューアル 検索機能を強化、インターフェースも一新

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）は本日 4 月 26 日、文部科学省、日本学術振興会と協力して作成・公開している科学研究費助成事業データベース「KAKEN」<sup>(\*1)</sup> の機能やインターフェースをリニューアルしました。研究課題のライフサイクルが見えるように課題の状況から検索が可能になったほか、オープンアクセスに関する表示などを追加。また、スマートフォンやタブレットなどのタッチデバイスに対応しました。「KAKEN」は以下の URL から、無料で、どなたでも利用可能です。

<https://kaken.nii.ac.jp/>

今回のリニューアルでの主な変更点は、以下の通りです。

### 検索機能を充実

研究者の役割、研究課題の状況、報告書の種類などから検索できるようになりました（別紙・図 1）。

また、検索結果からの絞り込み機能を追加しました。英語で検索できる項目も増やしました。

### 研究課題のライフサイクルの可視化

研究課題のライフサイクルが見えるように、課題ページでは「採択」「交付」「完了」などの状況を表示するようにしました（別紙・図 2）。また、従来の報告書に各種評価情報を追加し、わかりやすく表示します。

### オープンアクセスに対応

科研費の報告書に追加されたオープンアクセス及び謝辞記載の有無の項目の表示やリンク追加を行っています。

### API の提供

検索結果からのデータ出力に加え、API 対応により各機関でのデータ利活用を促進します。<sup>(\*2)</sup>



NII は国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が整備、公開している「JST プロジェクトデータベース」<sup>(\*3)</sup> の開発も担当し、運用に協力しています。当面は KAKEN と JST プロジェクトデータベースそれぞれの検索インターフェースを提供しますが、両データベースともに助成機関をまたいだ横断検索の実現を視野に入れてシステム設計を行っています。

〈メディアの皆様からのお問い合わせ先〉

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

総務部企画課 広報チーム（担当：美土路昭一）

TEL : 03-4212-2164 E-Mail : [media@nii.ac.jp](mailto:media@nii.ac.jp)

以上

(\*1) 「KAKEN」：文部科学省及び日本学術振興会が実施する科学研究費助成事業により行われた研究の当初採択時のデータ（採択課題）、研究成果の概要（研究実施状況報告書、研究実績報告書、研究成果報告書概要）、研究成果報告書及び自己評価報告書を収録。科研費助成事業は全ての学問領域にわたっていることから、日本における全分野の最新の研究情報についての検索が可能。収録データ数は研究課題 79 万件、報告書と評価情報計 148 万件、成果文献 700 万件超。

(\*2) API の提供：旧 KAKEN から仕様が変更されています。

(\*3) 「JST プロジェクトデータベース」： <https://projectdb.jst.go.jp/>

〈別紙〉



**KAKEN** 科学研究費 助成事業データベース

科学研究費助成事業データベースは、文部科学省および日本学術振興会が交付する科学研究費助成事業により行われた研究の当該採択時のデータ(採択課題)、研究成果の概要(研究実施状況報告書、研究実施報告書、研究成果報告書概要)、研究成果報告書及び自己評価報告書を収録したデータベースです。科学研究費助成事業は全ての学術領域にわたって幅広く交付されていますので、本データベースにより、我が国における全分野の最新の研究情報について検索することができます。

フリーワード  検索

■ 全文検索

研究課題名  研究課題番号

研究分野

研究種目

研究機関

研究期間(年度)  ~  開始年度

総記分類

研究課題ステータス  採択  交付  中断  留保  完了  採択後辞退  中途終了

キーワード

研究者情報

姓名

所属機関

役別  研究代表者  候補代表者  研究分担者  連絡研究者  研究協力者  特別研究員  外国人特別研究員  受入研究者

報告書情報

報告書/評価種別  実績報告書  自己評価報告書  研究進捗評価  研究成果報告書概要  中間評価報告書  事後評価報告書  実施状況報告書(基金分)  実績報告書(基金分)  研究成果報告書(基金分)  実績報告書(一部基金分)  研究成果報告書(一部基金分)  研究成果報告書  審査結果の所見  研究概要Q&A採択時  研究概要(研究進捗評価)  研究進捗評価(現地調査コピ)  研究進捗評価Q&A評価結果  研究進捗評価(検証)  評価の所見(G&D評価)  自己評価書(G&D評価)  研究概要G&D評価  中間評価(所見)  事後評価(所見)

(図 1) 詳細検索

**KAKEN** 科学研究費 助成事業データベース
日本語

[← 前のページに戻る](#)

インターネットを通じた創発的な創造活動のモデル化と支援に関する研究
研究課題

<b>研究課題番号</b>	24240014	サマリー
<b>研究種目</b>	基盤研究(A)	
<b>審査区分</b>	一般	
<b>研究分野</b>	ウェブ情報学・サービス情報学	
<b>研究機関</b>	国立情報学研究所	
<b>研究代表者</b>	武田 英明 国立情報学研究所, 大学共同利用機関等の部署等, 教授 (80252831)	
<b>研究期間(年度)</b>	2012-04-01 - 2016-03-31(予定)	
<b>研究課題ステータス</b>	<span style="border: 1px solid #0056b3; padding: 2px;">採択(2015年度)</span>	
<b>配分額*注記</b>	2012年度: 14,820千円 (直接経費: 11,400千円, 間接経費: 3,420千円) 2013年度: 10,790千円 (直接経費: 8,300千円, 間接経費: 2,490千円) 2014年度: 10,010千円 (直接経費: 7,700千円, 間接経費: 2,310千円) 2015年度: 10,920千円 (直接経費: 8,400千円, 間接経費: 2,520千円)	
<b>研究概要</b>	<p>(1)二コニコ動画データの分析:平成25年度に構築したデータを用いて創作過程の分析を行った。(a)創作チェーンの抽出:実際のデータでは創作関係はつながっており、このままでは個別の創作プロセスはみえない。まず一定の基準を作ってリンクを削除してコンポーネントの抽出を行った。(b)創作チェーンの可視化:コンポーネントにおいても創作カテゴリとリンクは複雑に関係し合っている。このため、この創作チェーンを可視化するシステムを構築した。</p> <p>(2)ソーシャルネットワーク上での伝播プロセスの分析:大規模なソーシャルネットワークにおいてはある人が生成させた情報がどのように伝播するかを知るのにはネットワーク上の創造的活動の分析に重要である。そこで、twitterネットワークを使って情報伝播のモデルを構築した。このモデルは情報の発生源、仲介者、利用者をネットワークデータのみから推定するモデルである。この手法を用いて大規模災害の前後でユーザの役割実化が捉えられることを示した。</p>	

**報告書** (2件)

2012 実績報告書

2013 実績報告書

**研究成果** (0件)

(図 2) 課題ページ